

# 高齢化する知的・発達障害者への支援を考える

## — 認知症・神経発達症・意思決定支援の実践から —

行動の変化、物忘れ、こだわり…高齢化と障害特性が重なったとき、どう支えるか。高齢の知的・発達障害者では認知症との見極めや対応の難しさ、これまでの支援が通用しにくくなるといった課題が生じています。

本研修では、全国調査・医療現場・意思決定支援の実践から、現場の“困りごと”に役立つ視点を提供します。

### ●こんな方におすすめ

- ・高齢の知的・発達障害者の支援に関わる施設職員・医療職
- ・ASD／ADHDなど神経発達症と高齢化の支援課題に関心のある方
- ・認知症と障害特性の見極めや対応に悩んでいる支援者
- ・意思決定支援を現場で実践したい相談支援専門員・行政職員など

### ●開催概要

オンデマンド配信 2026年2月3日(火)～3月16日(月)まで

### ●プログラム 各講座 約30分

第1講座 竹之下 慎太郎 先生（岡山大学 学術研究員・医師）

高齢知的障害者の全国調査から見えてきた課題／全国調査から見た高齢知的障害者の生活実態と支援ニーズ・地域・施設に求められる支援体制

第2講座 繁信 和恵 先生（公益財団法人浅香山病院 精神科・認知症疾患医療センター・医師）

認知症初期集中支援チームが係わる高齢神経発達症の課題と支援／高齢の神経発達症者にみられる特徴と認知症との関連・初期集中支援チームの実践から見える支援の工夫

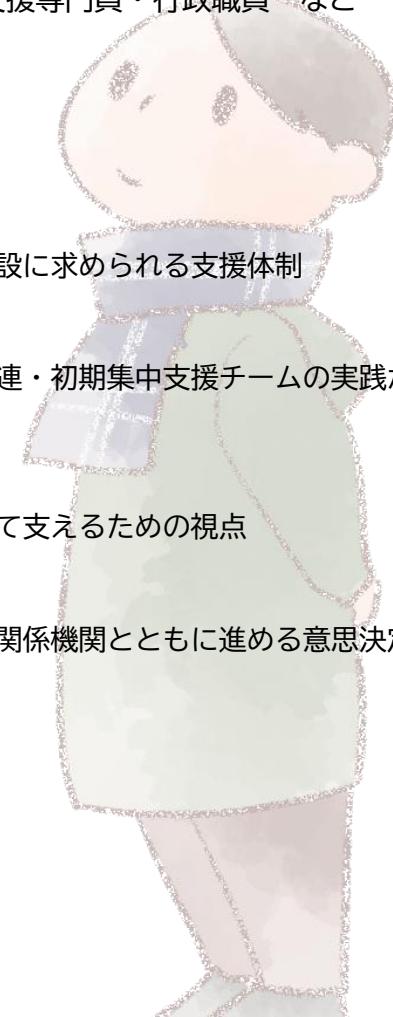
第3講座 三好 紀子 先生（ためなが温泉病院 精神科・医師）

高齢のASD／ADHD者の特徴と支援の課題／高齢期におけるASD／ADHDの特徴と困りごとの現れ方・医療と福祉が連携して支えるための視点

第4講座 村岡 美幸（国立のぞみの園 研究課）

高齢知的・発達障害者の意思決定支援／高齢の知的・発達障害のある人の「意思」をどう汲み取るか・家族・支援者・関係機関とともに進める意思決定支援の実践例

お申込み方法等は裏面へ



## お申込み方法等

●**お申込** 申込期間：2026年1月28日(水)～2月27日(金)まで 参加費：1,000円

国立のぞみの園ホームページ <https://www.nozomi.go.jp/>

→「養成・研修」→「研修のご案内」→「国立のぞみ園セミナー2025 高齢化する知的・発達障害者への支援を考える」→「**お申し込みはこちら**」

上記よりお申込みください ※自動返信はございません

### ●参加費の払込について

- ・申し込みフォームの受付最終画面にて、受付番号と払込口座のご案内をいたします。**スクリーンショットなどで画面を保存することをお勧めします**
- ・ゆうちょ銀行に備え付けてある払込取扱票の通信欄に（①受付番号、②受講者名、③住所、④振込者名）を必ずご記入ください。なお、払込手数料は受講者様の負担でお願いいたします
- ・請求書、領収書の発行は行っておりませんので、払込時の受領証を大切に保管ください

### ●キャンセルについて

- ・URL送付前のキャンセルにつきましては、手数料を差し引いた金額をご返金いたします
- ・URL送付後のキャンセルはできませんのであらかじめご了承ください

### ●視聴方法

お振込み確認後、お申し込みのメールアドレスに配信ページのURLとパスワードをご案内します。配信期間中は、お好きな時間に何度でも視聴できます。※お振込み確認まで入金後10日前後の時間を頂いております。

### ●お問い合わせ

国立のぞみの園 研究・人材養成部 槻岡・長井 メール：[\[nozomi-seminar-01@nozomi.go.jp\]](mailto:[nozomi-seminar-01@nozomi.go.jp])

電話：027-381-5582 (受付時間 9:00～17:00 土日祝日除く)